



南九州市

議会だより

— MINAMIKYUSHUCITY —

第66号

令和6年
5月8日



平和公園の桜並木(知覧)

【目次】

令和6年度当初予算 P2	議決結果など P9
令和5年度3月補正予算 P6	一般質問 P10
陳情 P7	人事案件 P18
条例の制定・改正など P8		

当初予算可決

前年度比 20億8000万円増

3月定例会

令和6年第2回定例会は、2月14日に開会し、3月25日までの41日間の会期で行われました。令和6年度当初予算及び、令和5年度の補正予算、条例の制定と改正などが審議されました。

令和6年度 一般会計当初予算（歳出）

（単位：千円、％）

区分	R6年予算額	R5年予算額	増減額	増減率
議会費	154,520	161,097	△ 6,577	△ 4.1
総務費	5,746,568	3,203,069	2,543,499	79.4
民生費	7,690,213	7,691,094	△ 881	0
衛生費	3,036,085	3,604,989	△ 568,904	△ 15.8
農林水産業費	2,010,737	1,649,940	360,797	21.9
商工費	2,114,971	2,090,425	24,546	1.2
土木費	1,688,731	1,940,561	△ 251,830	△ 13.0
消防費	1,018,369	1,035,829	△ 17,460	△ 1.7
教育費	2,583,619	2,564,121	19,498	0.8
災害復旧費	7,803	66,661	△ 58,858	△ 88.3
公債費	2,061,660	2,151,289	△ 89,629	△ 4.2
諸支出金	982,724	856,925	125,799	14.7
予備費	10,000	10,000	0	0
歳出合計	29,106,000	27,026,000	2,080,000	7.7

総務常任委員会審査分

総務費

新庁舎建設事業費

23億5622万円

新庁舎建築工事を中心とした事業を実施するもので、工事監理業務、オフィス環境整備、セキュリティ認証システム構築等の委託料と庁舎棟の建築、電気、空調、給排水工事のほか、附属棟の建築工事一式、造成工事等を予定している。



新庁舎建設場所の現況

委員から

問 知覧庁舎跡地活用検討会について説明を求めらる。

答 20名程度のメンバーで構成し、公共的団体の代表、地元の地区公民館長、周辺の自治会長、企業等や市の担当者等を考え、っており、おおむね6年度は、地元等の意見を聞きながら方向性を探っていく、7年度からはその方向性に基づいて話し合い、7年度以降に具体的な検討をしていきたい。

衛生費

川辺地域ごみ処理中継施設建設事業費

1億8080万円

本年9月に新ごみ処理施設「なんさつECOの杜」が稼働することに伴い、8月末をもって川辺清掃センターが操業を終了することから、同一敷地上に建設される中継施設の建設に要する経費。

企画費

バス対策事業費

9598万円

ひまわりバスの運行、地域間幹線バス路線の維持・確保等に要する経費。

市内高等学校活性化対策事業費

967万円

市内の3県立高等学校へ地域外からの留学生を受け入れる支援事業等に要する経費。

消防費

消防施設費

5261万円

消防団車両、資機材及び消防水利等の消防施設に係る維持管理に要する経費。



川辺ごみ処理中継施設建設予定地

令和6年度

一般会計 総額 291億600万円

文教厚生常任委員会審査分

総務費

川辺文化会館管理費

2816万円

生涯学習・文化振興の拠点施設である川辺文化会館の運営及び維持管理。

問 ネーミングライツパートナーの進捗は。

答 パートナー事業者はマル川建設(株)、愛称名はローマ字で「markkawaホール」と決定し、令和6年4月1日から3年の契約期間で、年額60万円の契約額となった。



民生費

緊急通報システム事業費

114万円

65歳以上のひとり暮らしの急病などの救助に対応する緊急通報機器の給付に要する経費。

問 緊急時に簡単に使えるものか。

答 電話機に本体を接続しボタンを押すタイプ、病院のナースコールのようにボタンを押すタイプ、首に下げた通報できる3種類を1組として設置するもの。令和5年度は2件の通報と1件の誤報があった。



緊急通報システム

子育て世代 包括支援センター事業費

834万円

妊娠期から子育て期にわたる、切れ目のない支援を提供するための運営に要する経費。

問 妊産婦健診での肥満や疾病は減少しているか。

答 令和4年度は南薩地域の平均を若干下回った。引き続き、産後も乳幼児健診を通じて食生活の指導や経過を追跡していく。



教育費

学校管理費

1億78万円

小学校16校の運営管理及び教育環境の充実を図るための経費。

問 学校司書の配置は何か。

答 大規模学校は1名配置。小規模学校では1人が2校を兼務して、1日おきに業務を行っているため、9名の配置になっている。

教育相談員等配置事業費

1204万円

教育相談員、スクールソーシャルワーカー等の配置に要する経費。

問 教育相談員の人数は何人か。

答 川辺・知覧・穎娃各中学校に、1名ずつ配置し、中学校を主としながら、計画的に小学校にも訪問する。

地域子ども教室推進事業費

186万円

地域子ども教室の運営及び夏休み子ども見守り事業に要する経費。

問 事業の具体的な内容は。

答 夏休みに地区公民館等で教育活動推進サポーターが、学習活動等の補助をしながら見守りを行う事業である。

委員会から

当初予算に新庁舎建設関係費が計上されている中、市民から暮らしの部分に予算を使っても良かったという声もある。予算執行には十分留意して取り組んでもらいたい。

産業建設常任委員会審査分

農林水産業費

茶業振興費（一般経費）

1287万円

知覧茶ブランド力を高めるために要する経費

～委員から～

事業の詳細は。

答 3年計画で、1年目は知覧茶ブランドの本の作成、2年目は知覧茶の動画の作成、3年目は知覧茶の産地ツアーを予定している。

新規就農者確保対策事業費

1622万円

本市の農業の魅力を発信し、就農希望者を呼び込むため、お試しツアーやアグリサポートセンターの開設に要する経費。

～委員から～

お試し体験ツアーの参加状況は。

答 令和4年度は6名、5年度は10名参加。6年度は15名を設定している。

顕娃農業開発研修センター管理運営費

2975万円

さつまいも基腐病対策として、圃場に病原菌を持ち込まないためのバイオ苗の安定供給対策や、実証圃場の設置に要する経費。

～委員から～

現在の施設の状況は。

答 平成11年に建設されたもので修繕が必要な状況である。



問 バイオ苗の状況は。
答 令和5年度は約11万5000本を生産。今後も生産安定に取り組む。

商工費

地域資源活用事業補助金

3100万円

ふるさと納税の返礼品開発に必要な施設整備等の補助に要する経費。

～委員から～

施設整備計画の詳細は。

答 市内で稼働する製造業をターゲットとして施設整備等に要する費用を補助するものである。



武家屋敷体験型コンテンツ導入事業費

1196万円

武家屋敷体験型コンテンツを開発・導入することにより、入込数の増加、滞在時間の延長、観光消費額の拡大を目指す事に要する経費。

～委員から～

事業内容は。

答 武家屋敷の音声ガイドをAR技術で行うサービスを考えている。携帯端末は30台利用しての運用で予算計上している。



土木費

道路メンテナンス事業費

1億7320万円

市道橋の補修工事及び定期点検により、道路施設の長寿命化を図る経費。

～委員から～

橋りょう長寿命化修繕計画の進捗状況は。

答 進捗状況は、市ホームページに掲載している。おおむね計画通りに進んでいる。



橋りょうの点検状況

都市計画マスタープラン策定事業費

1056万円

本市が望むまちづくりの実現に向けた「南九州市都市計画マスタープラン」策定に要する経費。

～委員から～

計画の詳細は。

答 令和6年から8年の3年事業を展開していく。上位計画である南九州市総合計画の方針のもとに、市民の意見を反映しながら土木的なインフラや施設等のまちづくりの将来ビジョンを確立する計画である。



令和6年度当初予算可決 特別会計・企業会計

(単位：千円、%)

区分	R6予算額	R5予算額	増減額	増減率
国民健康保険事業	5,640,000	5,585,000	55,000	1.0
後期高齢者医療	697,000	639,400	57,900	9.1
介護保険事業	5,480,000	5,500,000	△20,000	△0.4
水道事業	1,062,646	1,151,560	△88,914	△8.4
公共下水道事業	223,436	226,113	△2,677	△1.2
農業集落排水事業	98,565	147,526	△48,961	△49.7

国民健康保険 事業特別会計

一般被保険者療養給付費

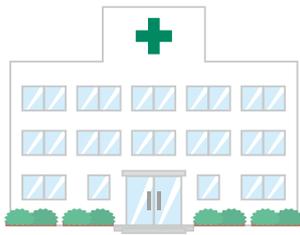
35億3754万円

医療費のうち、自己負担分を除いた保険者負担分を、国保連合会を通じて医療機関等へ支払うために要する経費。

一般被保険者高額療養費

5億8920万円

自己負担額のうち、定められた負担限度額を超える額を支給する経費。



後期高齢者 医療特別会計

後期高齢者医療

広域連合納付金

6億9110万円

歳出予算の99%を占めるもので、保険料や一般会計から保険基盤安定負担金を鹿児島県後期高齢者医療広域連合へ納付する経費。

～委員から～
今後も住民サービスの低下を招かないよう、各課と連携を図りながら事業に取り組んでいただきたい。

介護保険事業 特別会計

要介護生活支援型訪問
介護サービス事業

192万円

要介護者の居宅において、室内清掃、ゴミ出し、洗濯、買い物代行等の生活支援サービスを指定事業所以外の事業所に委託することで、在宅支援の充実を図るための経費。

介護予防把握事業

8556万円

介護予防の普及と要介護状態になる恐れのある在宅高齢者を訪問し、適

切なサービスに繋げるための訪問看護士の報酬に要する経費。

～委員から～
適切なサービス、支援に繋がっているか。答 訪問をすることで介護保険の申請に繋がっている。

水道事業会計

給水件数

1万8490件

遠方監視装置設置工事費

3500万円

～委員から～
問 遠方監視装置の設置状況は。
答 現在約半分の12地区で整備が済んでいる。

公共下水道事業会計

処理人口

3700人

処理場費

2237万円

知覧中央浄化センターの維持管理に要する経費。

～委員から～
問 新庁舎建設予定地を中心とした地域の管さよの容量は。
答 当該地域に住居や事業所が今後建設されても問題ない。

農業集落排水 事業会計

処理人口

910人

処理場費

1424万円

知覧垂水・川辺東部・知覧瀬世上地区処理場の維持管理費に要する経費。

污水管きよ建設費

319万円

公共枿設置工事費、緊急用ポンプ取替工事に要する経費。

～委員から～
問 ポンプの取替時期は。
答 2個セットで稼働させている。1個になっても稼働出来るため、故障してから交換している。

一般会計補正額 △4億6943万1千円

(13号補正 △4億7258万8千円・14号補正 3157千円)

補正後予算総額 285億8797万円

5年度
3月補正

一般会計補正予算 第13号・第14号

企画費

企業立地推進事業費

3891万円

企業立地促進補助金の交付要件を満たす企業2社に対する補助金の増額。

委員から

企業2社の補助金内訳は。

答 補助金交付要綱の対象となる物件については、市と立地協定を締結して用地等を取得し、操業開始から3年以内に申請できる。

補助金内訳
株式会社朝日
2541万円

九州伊藤精工(株)
1350万円

民生費

保育所関係費(一般経費)

▲460万円

保育士等就職支援事業補助金の減額。

委員から

問 保育士の安定確保のため今後も継続する考えは。

答 各施設に保育士が集まりやすい環境をつくり、他市に流出しないように継続していく。

農林水産業費

有害鳥獣等駆除事業費

205万円

有害鳥獣捕獲量増加に伴う増額。

委員から

問 捕獲量の状況は。

答 当初650頭で予算計上していたが、実績で1091頭となった。

農地費

多面的機能支払い交付金事業費

▲3177万円

交付金確定に伴う不用額の減額。

委員から

問 交付金の減額が大きい理由は。

答 農地維持活動、資源向上支払い、長寿命化の3本柱でセットされている。

例年、長寿命化分について満額の交付実績がなく、本年度においても申請額の55%程度となり、減額となった。

消防費

消防施設費(一般経費)

315万円

旧川辺分遣所解体工事に係る近隣家屋の工損事後調査に要する経費。

特別会計補正予算

国民健康保険事業

一般被保険者療養給付金費

2632万円

事業執行に伴う不足見込額を増額。

介護保険事業

地域自立生活支援事業費

▲640万円

高齢者等訪問給食サービス事業の実績見込みに伴う委託料の減額。

委員から

問 利用者数が減った要因は。

答 高齢者の施設入所や入院、転出が主な要因である。

企業会計補正予算

水道事業

収益的収入

838万円

電気料の高騰に伴い、将来の市民の水道料金の値上げが及ぼす市民生活への影響緩和を図る経費。



1月26日臨時議会開催

民生費

低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業費

1億6545万円

住民税均等割のみ課税世帯への給付及び低所得者の子育て世代への加算を行うための必要経費。



誘致企業事業所(旧手藁小)



陳 情

【陳情第1号】新庁舎建設65億円の見直しを求める陳情書〈不採択〉

※記名投票にて採択の可否を判断しました。

賛成議員：しい 千恵 角 貞己 西山 英一 上赤 秀人 内園 知恵子
反対議員：村方 直己 日置 友幸 大倉野 忠浩 川畑 実道 米満 孝二
鮫島 信行 蔵元 慎一 山下 つきみ 加治佐 民生 菊永 忠行
吉永 賢三



陳情者：南九州市と子や孫の未来を考える会

代 表：西 次雄

蓮子 幹夫 亀甲 俊博 川口 正一

～ 委員長報告～

本陳情は1月30日に提出され、2月14日、26日及び3月4日に特別委員会を開催し、陳情者及び執行部の出席を求め審査いたしました。

参考人である陳情者に対する質疑と、執行部に対する質疑後の意見集約において、委員から、執行部は今回示された民意を真摯に受け止め、新庁舎建設にあたっては、さらなる経費縮減努力を行うことを要望するとの意見、市民に対する更なる説明を求めるとの意見が出されました。

～ 賛成討論～

20億円の事業費増額は納得いくものでなく、今後さらに社会情勢が変化する中で、市民の意見を踏まえ見直しが必要である。また、説明責任が十分に果たせておらず、建設事業費は市民の感覚とあまりにも大きな隔たりを感じることから賛成。

～ 反対討論～

事業費は65億円であるが、交付金、補助金などの充当により約45億円となり30年の返済計画であれば現役世代にも十分負担が伴い、子や孫の世代へは負担は少なく、職員削減による経費削減で返済も可能である。すでに新庁舎関連予算を議会が承認し、事業に着手しており、建設を中止することは無駄な市の財政負担を招くことから反対。

【陳情第2号】政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情〈審議未了〉

陳情者：福元 潤一

*すでに管理職を対象にアンケートを取るなど調査をしている。



【陳情第3号】川内原発20年延長に関する陳情書〈不採択〉

陳情者：日高 四郎 大倉野 由美子

*撤回を求めるのは非常に難しいことから、県や薩摩川内市の判断を尊重。



条例の制定・改正

制定(原案可決)

南九州市地域振興対策事業基金条例

地域の活性化を図る目的で実施する地域振興対策事業に要する経費に充てるため、南九州市地域振興対策事業基金を設置することに伴い、条例を制定するもの。

事業の概要は、市内の地区公民館や法人等の団体からこの事業の対象となる提案があった場合に、審査委員会を設置して内容の審査を行い、実施すべきと判断された提案について、市が具体的な方策を立てて基金を活用して実施するもの。

～委員から～

問 地区公民館等への説明や広報は。

答 4月の自治会長、地区公民館長の合同説明会の時に説明を行い、広報紙及びホームページへの掲載を考えている。

一部改正(原案可決)

南九州市温泉センター条例の一部を改正する条例

知覧温泉センターの泉源の水位低下や設備の老朽化による修繕費用の増大などにより、令和6年3月31日をもって閉館することに伴い、知覧温泉センターに関する部分を改正。

～委員から～

問 利用者から継続を望む声は。

答 継続を望む意見はあったが、温泉掘削には2億円程度の費用がかかることや、市内に市営や民間の温泉施設が複数ある現在の状況など、閉館の経緯について説明している。

～反対討論～

高齢者の利用が多く、閉館すると不便になるため継続してほしいとの声があることから反対。

～賛成討論～

経年劣化や温泉の水位低下により、温泉施設としての機能は満たさず、施設の利用は難しいことから賛成。

南九州市シェアサイクル等の設置に関する条例の一部を改正する条例

番所鼻公園の1か所だけであった瀬娃地域のサイクルポートを、釜蓋神社付近に新設したことによる改正。

～委員から～

問 シェアサイクルの利用率は。

答 知覧のサイクルポートの利用率が高く、全体の半分以上を占めているが、今回の新設により、釜蓋神社と番所鼻公園の利用を高められる見込みである。

南九州市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例

県が実施する重度心身障害者医療費助成制度の変更に伴い、助成金の支給方法として自動償還払いの導入をすること及び助成対象者に精神障害者の一部を加えるもの。

～委員から～

問 世帯員内に助成の制限に該当する者がいれば助成制度の対象外になるのか。

答 重度心身障害者の扶養義務者が助成の制限に該当すれば対象外になる。

南九州市学校設置条例の一部を改正する条例

松ヶ浦小学校及び霜出小学校の再編により、令和7年3月31日をもって松ヶ浦小学校を廃止することに伴い、所要の改正をするもの。

南九州市介護保険条例の一部を改正する条例

市町村特別給付として要介護生活支援型訪問介護サービスについて規定すること及び介護保険法施行令の一部を改正する法令が施行されたことに伴い、令和6年度から令和8年度までの介護保険料の所得段階拡大等所要の改正をするもの。

南九州市公園条例の一部を改正する条例

岩屋公園内に焼肉棟を新設すること、有料施設であるウォータースライダーの使用料及び知覧平和公園内のサッカー場照明設備を新設することに伴い、所用の改正をしようとするもの。

～委員から～

問 焼肉棟の使用料について、積算根拠を示せ。

答 近隣の類似施設や同施設内の他施設などの料金も参考にしている。

議 決 結 果 等

議案番号	件 名	議決年月日	議決結果	議案番号	件 名	議決年月日	議決結果
発 委 第 1 号	南九州市議会委員会条例の一部を改正する条例について	R6.2.14	原案可決	議 案 第19号	令和5年度南九州市介護保険事業特別会計補正予算（第5号）	R6.3.4	原案可決
諮 問 第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	R6.2.14	適 任	議 案 第20号	令和5年度南九州市水道事業会計補正予算（第4号）	R6.3.4	原案可決
諮 問 第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	R6.2.14	適 任	陳 情 第 3 号	川内原発20年延長に関する陳情書	R6.3.4	不採択
諮 問 第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	R6.2.14	適 任	議 案 第38号	令和5年度南九州市一般会計補正予算（第14号）	R6.3.4	原案可決
議 案 第 2 号	市道路線の廃止について	R6.2.14	可 決	議 案 第21号	南九州市会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例及び南九州市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決
議 案 第 3 号	市道路線の認定について	R6.2.14	可 決	議 案 第22号	南九州市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決
議 案 第 4 号	財産の無償貸付について	R6.2.14	可 決	議 案 第23号	南九州市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決
議 案 第 5 号	財産の無償貸付について	R6.2.14	可 決	議 案 第24号	南九州市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決
議 案 第 6 号	財産の無償貸付について	R6.2.14	可 決	議 案 第25号	南九州市地域振興対策事業基金条例の制定について	R6.3.25	原案可決
議 案 第 7 号	財産の無償貸付について	R6.2.14	可 決	議 案 第26号	南九州市ごみステーション条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決
議 案 第 8 号	南九州市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	R6.2.14	原案可決	議 案 第27号	南九州市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決
議 案 第 9 号	南九州市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	R6.2.14	原案可決	議 案 第28号	南九州市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決
議 案 第10号	南九州市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	R6.2.14	原案可決	議 案 第29号	南九州市学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決
議 案 第11号	南九州市給水条例及び南九州市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	R6.2.14	原案可決	議 案 第30号	南九州市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決
発 議 第 1 号	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書について	R6.3.4	原案可決	議 案 第31号	令和6年度南九州市一般会計予算	R6.3.25	原案可決
議 案 第12号	南九州市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.4	原案可決	議 案 第32号	令和6年度南九州市国民健康保険事業特別会計予算	R6.3.25	原案可決
議 案 第13号	南九州市温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.4	原案可決	議 案 第33号	令和6年度南九州市後期高齢者医療特別会計予算	R6.3.25	原案可決
議 案 第14号	南九州市シェアサイクル等の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.4	原案可決	議 案 第34号	令和6年度南九州市介護保険事業特別会計予算	R6.3.25	原案可決
議 案 第15号	南九州市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.4	原案可決	議 案 第35号	令和6年度南九州市水道事業会計予算	R6.3.25	原案可決
議 案 第16号	令和5年度南九州市一般会計補正予算（第13号）	R6.3.4	原案可決	議 案 第36号	令和6年度南九州市公共下水道事業会計予算	R6.3.25	原案可決
議 案 第17号	令和5年度南九州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	R6.3.4	原案可決	議 案 第37号	令和6年度南九州市農業集落排水事業会計予算	R6.3.25	原案可決
議 案 第18号	令和5年度南九州市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	R6.3.4	原案可決	陳 情 第 1 号	新庁舎建設65億円の見直しを求める陳情書	R6.3.25	不採択
				議 案 第39号	財産の無償貸付について	R6.3.25	可 決
				議 案 第40号	南九州市税条例の一部を改正する条例の制定について	R6.3.25	原案可決

継 続 審 査

議案番号	件 名・提出者	付託委員会
請願第 1 号	西木場水源地源流部「残土処分場」の問題点に係る請願	総務常任委員会
議案第 41 号	南九州市新庁舎建設 65 億円規模の現計画の是非を問う住民投票条例の制定について	南九州市新庁舎建設 65 億円規模の現計画の是非を問う住民投票条例の制定に関する特別委員会

市民の声を 行政に問う

一般質問

15人が登壇

議会会議録はこちらで
見ることができます

- ◎地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎南九州市ホームページ

見出しの下に動画視聴のためのQRコードを掲載しています。スマートフォン等でQRコードを読み取ると一般質問の録画映像がご覧いただけます。

米満 市温泉センターについて、それぞれの施設に答申が出されているが、今後どのように進めて行く考えか問う。

市長 南九州市温泉施設のあり方検討委員会から具体的な施設ごとの提言が出されて、南九州市公共施設適正配置計画を策定している。えい中央温泉センターは施設の長寿命化、えい別府温泉センターは令和7年度から民間移管検討、ふれあいセンターわくわく川辺は令和8年度から民間移管を検討してい



米満 孝二 議員

温泉施設

市温泉センターの
今後の進め方について

市長／南九州市公共施設適正配置
計画に基づいて進める



る。

米満 温泉の利用者にとつて、お互いが語り合える場でもあり、コミュニケーションの場でもある。

別府温泉の存続はAコープ売り上げにも貢献しており、地域の方々にとつて、唯一買い物が出る施設でもある。民間移管であれば、指定管理者による運営であ



えい別府温泉センター

その他の質問
・ 知覧庁舎跡地活用の検討について
・ ひまわりバスの運行見直しについて

れ、地域住民は別府温泉の存続を望んでいることについて問う。

市長 市民の声を聴きながら、出来る限り施設を長く利用できる形で、民間活用を考えながら、市民の方々に長く利用できるようにしたい。

ただし、泉源が枯渇することがあれば、運営は難しいと考える。

施政方針

南薩の中心に 向けた街づくりを 進める

市長／都市計画マスタープラン策定を
進める



蔵元 慎一 議員

蔵元 新庁舎建設計画が進められている新町地域では、様々な企業の進出、一般住宅の新築、アパート・マンションなどの建設が

タープラン策定に取組む。社会的課題について住民の意見を反映させながら、目指す街の将来像を確立し、整備方針、生活・経済活動等を支える土地利用・諸施設の計画などを策定し、南薩の中心地としての魅力ある南九州市の街づくりを創造していく。

これまで無いスピードで進んでいる。南薩の中心地を目指して市長は、どのような施策に重点をおいて街づくりを取り組むのか。

市長 令和6年度から8年度にかけて、南九州市都市計画マ



新町地区周辺

ICTを活用した教育 の情報化の推進

教育長／生成AIの活用についても適切な指導を行っていく。

蔵元 令和3年度に導入された児童・生徒一人一台のタブレット端末整備は、4年目を迎える。国は更新に向けた準備を始めたが、本市における現状と課題を示

教育長 毎日の授業で活用するほか、休日や長期休暇における自宅学習、生活指導でも活用している。学校間・個人間の差の解消に取り組むとともに、生成AIの活用についても、国や県の動向を注視し、最新の情報を踏まえた、適切な指導を行っていく。

不登校

不登校の現状と対策は

教育長／過去最多・最重要課題と認識



内園 知恵子 議員

内園 「全国的に不登校の児童生徒が増加」との報道があるが、本市の現状と対策を問う。

教育長 国の調査で、令和4年度の不登校児童生徒数は、過去最多の約29万9000人。本市も過去最多の49人で、最重要課題と認識している。

不登校児童生徒に対して、学校内の別室登校や適応指導教室（スマイル教室）への通級、リモート学習等、学びを保障する努力をしている。今後の対策として、

スマイル教室は、顕娃・川辺にも教室設置を検討する。

自衛隊への情報提供除外申請受付延長について
市長／約2ヶ月間が受付期間

内園 除外申請受付期間が短く、気付けないうちに終了となること

を危惧する。延長する考えはないか。

市長 1月22日から3月29日迄の2ヶ月間とした。

内園 周知の方法は。

市長 市報と市ホームページに掲載している。

内園 市内3高等学校へのお知らせチラシ等を配布する考えはないか。

市長 今は考えていない。県内の状況等をみて検討する。

その他の質問
・介護報酬改定について

南九州市の不登校児童生徒数

令和2年度	43人
令和3年度	44人
令和4年度	49人
令和5年度	37人

支所機能

支所の人員配置と

業務対応

市長／本庁機能集約後は、現在の係に教育各部門の窓口を設置し、一般的な手続きは支所で完結できるように住民サービス向上を図る



大倉野 忠浩 議員

大倉野 支所の人員配置については、過去の質問に対する執行部の答弁に変更はないか。

市長 現在の支

所については、市民窓口として、本庁機能を有していない部門を各庁舎に配置している。支所の人員配置については、施策・行政需要等を勘案しながら、適宜見直しを行う。支所管内の市道・農道・水道管路等のライフラインの維持管理について、新庁舎開庁

(1)-3 本庁方式移行後の支所のイメージ

現状 (R3.4.1) 支所人員合計 57名		本庁方式移行後 (案)	
支所	係	支所	係
地域支所	地域振興係 (正:2名, 会:1名, 専:1名)	地域振興係兼建設水道係	
	市民生活係 (正:7名, 会:1名)	財政企画市民生活係	
	福祉係 (正:5名, 専:1名)	福祉係	
中間支所	市民生活係 (正:7名, 会:1名)	地域振興係兼建設水道係	
	福祉係 (正:3名)	財政企画市民生活係	
	福祉係 (正:3名, 会:1名)	福祉係	
川辺支所	地域振興係 (正:2名, 会:1名, 専:1名)		
	福祉係 (正:2名, 専:1名)		
	福祉係 (正:3名, 専:1名)		

※支所の係名は別途検討する。
※下線のある部分が増加分
※各支所30数名程度になる見込み。

【内訳】 正:正職員 会:主任職員 専:専門職員
会:会計年度任用職員 専:専門職員

後は修繕・応急処置等の業務を速やかに実施できるよう、支所での予算化や支所長権限での予算執行を予定しており、これまでの答弁に変更はない。

地域計画(人・農地プラン)の進捗状況は市長／市内35地区を選定し、素案を作成している。

大倉野

令和7年3

月までの策定に向けた具体的な進捗状況を問う。

市長

地域計画のスケジュールとして、農地の所有者や耕作者の意向調査を実施し、地域の関係者を集めた話し合いを行い、農地集約等の状況を反映した目標地図を作成し、地域計画としてまとめる。令和5年度は19地区の素案作成に取組み、令和6年度は残り16地区について策定する予定である。

その他の質問

・大規模災害時における国の初動体制組織の要望

新庁舎建設

人口減少に伴う財政運営の在り方について

市長／市の総合計画に基づき最大の効果が得られるよう工夫しながら取り組む



しい 千恵 議員

しい 現計画を中断し、人口を増やす取組みや子育て支援を充実すべきではないか。

市長 市が抱える課

題は、人口減対策、子育て支援、高齢者・障害者の福祉の向上、産業の振興、インフラ整備など多岐に渡るが、本庁方式の庁舎にすることで行政の合理化、効率化が図られ、経済効果が生まれる。
しい 令和6年1月26日付の新聞報道で、本市は人口減少が進み限界自治体になる見込



みがあり、財政運営が困難になると予想されているが、今後の財政運営の対策を問う。
市長 人口減少については、本市では特に若い世代の人口減少率が高いことは承知している。この課題に対しては、子育て支援策や移住定住策の一層の充実を図るとともに、若い世代のみならず、だれもが住みやすいまちづくりを推進し、限界自治体にならない取組みを行うっていかねばならない。

【近隣市への社会動態～令和5年1～12月の転入・転出状況】

	鹿児島市	南さつま市	指宿市	枕崎市
本市から転出	311人	76人	43人	47人
本市へ転入	272人	44人	77人	33人
増 減	-39人	-32人	+34人	-14人

しい 臨機応変な舵取りを要望する。

新庁舎建設 財政負担

増えた総事業費の負担分約10億円について、減債基金を積み立てて将来世代の負担を減らす考えはないか

市長／10億円を目標として
積み立てたい



日置 友幸 議員

日置 総事業費について、基本計画時は約45億円と見込んでいたが、現在は約65億円となった。

増えた20億円のうち約10億円は市の負担増が見込まれる。後世の負担を減らすため、2030年を目標として、減債基金に10億円を積み立てる考えはないか。

市長 起債償還を見込み、令和5年度末で約6億2千万円を減債基金に積み立てる見込みだ。

後世への負担を軽減したいという思いは私も同じだ。10億円の積み立て

新庁舎建設総事業費の見込推移

・R4年3月 総事業費約 45 億円 (内訳)	
国の支援額	14.4 億円
市の基金繰入等	9.0 億円
市の将来負担額	21.6 億円
・R6年3月 総事業費約 63.8 億円 (内訳)	
国の支援額	24.0 億円
市の基金繰入等	10.2 億円
減債基金積立	最大 10 億円 (目標)
市の将来負担額	最大 21.6 億円 (目標)

* 内訳合計と総事業費が合わないのは、減債基金の目標額を大きく見積もっているため。

を目標としたい。

日置 目標を達成した場合、将来世代が負担する金額は、物価高騰前の当初計画通りとなると考えるが、市長の見解は。

市長 その通りである。
日置 新庁舎建設は目的でなく、まちづくりの為の手段である。新庁舎建設と今後の市政のビジョンを問う。

市長 防災拠点とし

て新庁舎が必要である。

また、新庁舎を建設する地域には南薩地域振興局もできる。市の核となる地域であり、南薩の中心となる街づくりを進めたい。顕娃地域は県内有数の農業地帯だ。農業や観光振興を進めたい。川辺地域は鹿児島市の近郊であり、企業誘致など商工業の発展を進めたい。若者が定住できる住みやすいまちづくりに取り組みたい。

その他の質問

・防災と女性の視点
・コロナ禍での児童生徒フォローアップ

福祉施設

市温泉センターの今後は

市長／長寿命化・民間移管を検討している



取達 博文 議員

取達 老朽化を迎える3市営温泉センターは今後も存続されるか。

市長 えい中央温泉センターは長寿命化を、えい別府温泉センターとふれあいセンターわくわく川辺は民間移管としていく。

取達 知覧温泉センターの廃止に伴い、市内の民間温泉施設で利用できる割引券を発行する考えは。

市長 民間温泉施設で利用できる割引券や運用システムについて検討していきたい。

取達 知覧温泉センターは源泉の湯量減少により廃止とすることになったが、残りの3施設の源泉の状況は、今後問題ないか。

市長 3施設の源泉は、ポンプを下げられる余裕があり、湯量の確保には現状では問題ない状態である。

休止状態のB&Gプールの今後の在り方は
教育長／検討していく

取達 財団からの助成金が不採択となり施設は改修中断だが、今後補助金は見込めるか。

教育長 休止状態でもあり助成金は見込めない。



休止中のB&Gプール

取達 今後の再開の計画はあるか。

教育長 市民の意見を求めながら、将来のまちづくりを具体的に定めていく「都市計画マスタープラン」で検討されていくと考える。

茶業振興

茶流通拠点施設の整備に向けた協議会を設置する考えはないか



市長／茶需給動向を注視しながら、関係機関・団体等で検討協議していく必要がある



鮫島 信行 議員

する考えはないか。

市長 茶の流通拠点施設については、知覧茶銘柄統一前の平成24年度に茶流通拠点施設協議会を立ち上げ、茶の流通拠点施設整備について検討・協議し、平成26

高めたお茶の販売を目的とする仕上げ加工の拠点施設をJA南さつまの既存施設を拡充する形で整備し、一定の成果が図られたところである。当時の協議会は解散しており、新たな協議会の設置については、茶需給動向を注視しながら、関係機関・団体等で検討・協議していく必要があると考えている。

鮫島 近年茶業を取り巻く環境は厳しく、茶価の低迷、肥料・農薬の高騰で経営が苦しく茶業を廃業する農家も多く、後継者も育たず茶業従事者が減少している。これには既存の流通システムの影響も大きく、平成29年度に銘柄統一したメリットを最大限に生かすためには、知覧茶流通拠点施設を整備して品質の安定化と流通経路を二元化することが必要かと考える。茶流通拠点施設の整備に向けた協議会を設置



JA 南さつま茶加工流通センター

観光スポーツ振興

大会の成果を観光・スポーツ振興にどのように生かしていく考えか



教育長／交流人口の増加が図られ、観光振興に繋がるような大会が誘致されるよう努める



川畑 実道 議員

様々な関連大会等の、一流選手のプレーを観戦したり、デモンストレーションスポーツ大会や炬火ラリー等へ参加した。

川畑 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の成果は、

教育長 本市においてはソフトボール競技を中心に盛大に開催され、多くの皆様のご尽力により、無事に終了することができ、心より感謝している。

川畑 この大会を参観した市民の数は、

教育長 1万6172名で、多くの市民が、国体競技を始め、リハール大会として実施した「全日本総合女子ソフトボール選手権大会」や

光パンフレットの配布などを行ったことで、観光や特産品など、本市の魅力面向全国に向けて発信できたと考えている。

川畑 市の活性化に繋がる新たな大会の企画は。

市長 国体に向けて施設の整備が進んだことは、市民の施設利用の促進や大会誘致などに寄与するものと考えている。ソフトボール協会を中心に交流人口の増加が図られ、観光振興に繋がるような大会が誘致されるよう努めている。

川畑 観光PRにどのように役立てていく考えか。

市長 大会に訪れていたいただいた多くの参加者や観戦者に対して、郷土料理の振る舞いや観

◇令和6年度ソフトボール大会 開催日程◇（全日本・九州・県大会）
知覧平和公園をメイン会場に多くのソフトボール大会が開催されます。
皆さんぜひ見学、応援にお越しください。

年	月	日	大会名	規模	
R6	4	6・7	クラブ男女選手権大会（予選）	県	
		20・21	総合男子選手権大会（予選）	県	
		28	総合女子選手権大会（予選）	県	
	5	18・19	九州大学男女春季選手権大会	九州	
		25・26	九州クラブ男子選手権大会	九州	
	6	1・2	日本男子リーグ 第2節	全日本	
		8・9	社年・日本マスターズ大会（予選）	県	
		22・23	九州総合男子選手権大会	九州	
	7	14・15	九州中学生男子大会	九州	
		1～3	日本女子リーグ 順位決定戦	全日本	
	R7	11	9・10	県総合男女選手権大会	県
			12	山口水産杯鹿児島県選抜小学生大会	県
3		22・23	かごしま黒潮オープン戦	九州	
		29・30	九州小学生男子選抜大会	九州	

交通アクセス

交通アクセスの、利便性向上を図る必要があるのでは

市長／公共交通サービスのあり方を検討する



村方 直己 議員

村方 本市では新ひまわりタクシーの試験運行が始まっているが、今後、自動運転・ライドシェア等、先進的な取り組みを本格化していく考えはあるか。

村方 魅力向上には既存の交通アクセスを見直し、利便性の向上を図る必要があると考えるが、見解を問う。

市長 交通事業者をはじめとする地域の関係者等と協議をしながら、公共交通の改善や移動手段の確保に努めており、今後についても、利用者の利便性や運行コストとのバランスを考慮しつつ、様々な移動ニーズに対応する公共交通サービスのあり方について検討する。



市長 現在、新予約型乗合タクシーの試験運行をしており、効果的であると判断した場合は、市内の事業者と協議をしながら、市街地から遠いエリアでひまわりバスの利用者が少ないエリアを中心に、徐々に拡大していきたいと考えている。

村方 大動脈となる空港や中央駅等の直通交通の路線誘致や、地元業者と試験運行し、需要を検討する考えはないか。

市長 直通の交通路

線誘致については、既存の路線バスで鹿児島中央駅までのアクセスはすでに確保されており、鹿児島空港までのアクセスについては、加世田、指宿を拠点にネットワークが構築されていることから、現在の地域公共交通計画の中では考えられていない。

車以外の交通手段の確保ができた場合、本市の観光ポテンシャルは、まだまだ期待できる。

村方 機会損失とならないよう向き合っていたいただきたい。

小作料

現在の状況と今後の対応について

農業委員会会長／地権者及び耕作者と協議していく



菊永 忠行 議員

している。当該地区の小作料は、地権者に工事負担金が生じることから設定され、償還が終了する時期に見直す計画については明確でない。農家個々においての契約であり、更新時期はそれぞれ異なる

菊永 知覧町塩屋農地開発地区の賃貸借に係る小作料は、当初は10アール当たり1万8千円と当時の標準の2倍近い設定であり、工事負担金の支払いが終了した時点で見直すこととなっていたが、現在の状況と今後の対応を問う。

会長 塩屋農地開発地区は、昭和59年度に事業が始まり、平成12年度の事業完了までに約192ヘクタールの区画整備を実施、事業当初から約40年が経過

しており、一斉に見直すことは難しい。周辺の現状などを踏まえ昨年度末から該当する方には、見直した額で事務を進めている。今後も、地権者及び耕作者と十分協議をし、見直していく。

その他の質問
・市長及び市議会議員選挙について



有害鳥獣対策

有害鳥獣捕獲後の 処分について



市長／関係機関と協議し検討していく



角 貞己 議員

角 これまで有害鳥獣対策等については、毎年のように取り上げられている。

有害鳥獣被害は一朝一夕には解決できないが、農家が安定した農業経営に取り組めるように、有害鳥獣対策には力を入れて頂きたい。

有害鳥獣による農産物被害が多く見受けられるが、被害が減らない要因として、有害鳥獣捕獲の免許保有者減少と有害鳥獣捕獲後の処分に課題があると考えているが、市の見解と対策



箱罠の設置状況

を問う。

市長 有害鳥獣捕獲従事者は、高齢化も進んでいることから、狩猟免許講習会受講料の一部助成を行い、新たな捕獲

従事者の確保に努めている。

また、有害鳥獣捕獲後の処分については、現在埋設又は自家消費で対応しているが、特に大型であるイノシシの埋設は苦勞しているとの話を聞いているので、捕獲従事者の処分軽減を図るための対策を関係機関と協議し検討していく。

これからの南九州市

本市の未来像を どのように描いているか



市長／活力ある・魅力あふれるまちづくりを目指す



上赤 秀人 議員

上赤 市長選挙の結果をどのように捉えているか。

市長 向こう4年間の市政運営のかじ取り役を任せられた。新庁舎建設は、今後の活性化に欠かせない重要な取り組みである。後世に負担がかからないよう、国の支援が得られる今でなければならぬ。

上赤 人口減少対策が喫緊の課題と考えるが。

市長 各分野で効果的な施策を展開し、2060年時点で人口2万



人を維持する。子どもを産み育てやすい環境の整備、医療体制の充実、産業の振興、企業誘致等を積極的に進める。

上赤 旧3町の均衡ある発展の、具体的方策は。

市長 地域の発想を生かす提案があれば、審査委員会を設置し審査する。実施すべきと判断された提案は、具体的方策を立て実施していく。

支所機能の確保は
市長／現体制を維持する

上赤 市道等管理作業班職員の高齢化が進んでいる。今後の体制は。

市長 定員適正化計画を基本として道路管理技士を採用し、会計年度任用職員は欠員補充を行っていく。若者にも魅力を感じられるような、処遇の改善も検討していく。

上赤 多面的機能支払交付金事業の重要性から、担当職員の配置と広域協定事務職員の座席を隣接して設ける必要があると考えるが。

市長 担当職員は配置する。今後も、各団体・各広域協定の意見を聞きながら、事業継続と負担軽減が図れるよう行っていく。

交通弱者対策

対象者の外出のニーズに
合った交通手段の整備を



市長／予約型乗合タクシーを
充実させる



山下 つきみ 議員

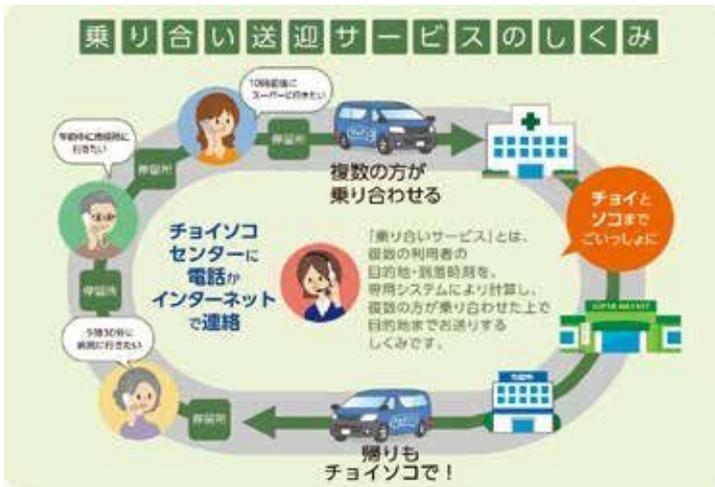
山 下 社会情勢の変化により、交通路線の減便や一部廃止が進んでいるが、移動不便者への対応を問う。

山 下 現行の対応は、市内の一部にコースが限定されていることで、多くの対象者のニーズに行き来する新ひまわりタクシーの実証運行を行っている。

山 下 新ひまわりタクシーの検証結果で、本格運行や、エリアの拡大も考えていく。また、AIを活用したデマンド型の送迎サービスも調査・研究を行っている。

市長 平成21年から、ひまわりバス・拠点間バスの運行を開始したが、時間や経路等外出の実態に合わない場合もあることから一部を廃止した。

バス廃止路線において、令和元年10月から、自宅からバス停までを結ぶ予約型乗合タクシーの運行、昨年12月からは、自宅と地域の主要施設



運営企業のホームページから引用

市長 昨年、各種イベント実行委員会等から物価高騰などによる経費等が増加している報告を受けた。令和6年度、補助金上限を240万円から260万円に増額する方向で、当初予算に計上した。地域や各

吉 永 地域や各種団体のイベントがコロナ禍の影響や物価高騰により規模縮小や休止となり再開や継続を悩む状況である。交流の場や経済浮揚を図るため補助金を増額する考えはないか。



吉永 賢三 議員

イベント補助金

南九州市地域イベント等
補助金を増額する考えは



市長／令和6年度補助金上限を
増額する

種イベント実行委員会等から相談があれば、要綱も検討していく。



給水引き込みに係る負担金を軽減する考えはないか
市長／軽減できる方策などを検討する

吉 永 中古住宅購入や新築の際、水道本管が周辺に整備されてお

らず、新規の本管布設工事の受益者負担が大きいため、水道道を利用できないとの声を聞くが、受益者負担を軽減する考えはないか。

市長 今後も原則、受益者負担工事の考えであるが、給水引き込みには様々なケースがあり、受益者負担額を軽減できる方策がないか検討する。

吉 永 地震や災害に備え水道には万全の対策が必要である。施設の高齢化や水道管の更新、布設替えの対策、事業の進捗を図るため水道料金の引き上げを検討する考えはないか。

市長 令和4年度に、料金の値上げを行った。材料の高騰や人口減少などにより収入の減少が見込まれ、今後厳しい財源状況が予想されている。今後において、再度水道料金の改定の検討が必要と考える。

人事案件

南九州市選挙管理委員

◆選挙管理委員◆

任期は令和6年2月26日から
令和10年2月25日まで。
門園 博徳 氏 知覧町瀬世



◆選挙管理委員◆

任期は令和6年2月26日から
令和10年2月25日まで。
大迫 茂子 氏 穎娃町別府



◆選挙管理委員◆

任期は令和6年2月26日から
令和10年2月25日まで。
吉永 正博 氏 川辺町小野



◆選挙管理委員◆

任期は令和6年2月26日から
令和10年2月25日まで。
山崎 貴美子 氏 川辺町野間



南九州市選挙管理委員補充員

◆選挙管理委員補充員◆

任期は令和6年2月26日から
令和10年2月25日まで。
永谷 岩男 氏 穎娃町牧之内

◆選挙管理委員補充員◆

任期は令和6年2月26日から
令和10年2月25日まで。
杉山 清 氏 知覧町南別府

◆選挙管理委員補充員◆

任期は令和6年2月26日から
令和10年2月25日まで。
東 篤 氏 川辺町本別府

◆選挙管理委員補充員◆

任期は令和6年2月26日から
令和10年2月25日まで。
塗木 博人 氏 知覧町郡

南九州市人権擁護委員

◆人権擁護委員◆

任期は令和6年7月1日から
令和9年6月30日まで。
茅野 良信 氏 知覧町東別府



◆人権擁護委員◆

任期は令和6年7月1日から
令和9年6月30日まで。
原之園 ゆかり 氏 川辺町宮



◆人権擁護委員◆

任期は令和6年7月1日から
令和9年6月30日まで。
福留 保 氏 穎娃町別府



議会を傍聴してみませんか!

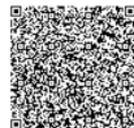
次の議会は6月13日(木)開会予定
“手続き簡単”本館2階で住所・氏名を書くだけ

6月定例会

6月	13日	本会議(開会)	補正予算等質疑・委員会付託
	17日	常任委員会	補正予算等審査(総務・産建)
	18日	常任委員会	補正予算等審査(文教)
	19~21日	本会議	一般質問
	28日	本会議(閉会)	補正予算等採決

◆議会中継◆ ライブ中継は市ホームページまたは各支所ロビーでご覧いただけます。

議会の録画中継



市ホームページよりスマホ・
パソコンで視聴できます。
※ただし、議会当日の7日後くら
いからの配信となります。

編集後記

「天災は忘れたころに来る。」
明治から昭和を生き抜いた物
理学者・随筆家の寺田寅彦氏
の言葉です。

元日 午後四時十分。
誰もが新年を慶び、ほろ酔い
気分の中で「能登半島地震」が
発生しました。

正月の帰省に向けて、子や孫
のためにおばあちゃんが料理
したすき焼きが、コンロの上に
そのままの状態で置かれた映
像に心打たれました。

「危機こそ政治の出番。」
このことを再認識する令和
六年のスタートとなりました。

(大倉野 忠浩)

▼広報編集委員会

委員長	上 赤 秀 人
副委員長	大倉野 忠 浩
委員	西村角 山 英 一
	角 山 直 己
	し い 貞 己



◎発行：鹿児島県南九州市議会

◎編集：議会広報編集委員会

◎発行責任者：今吉 賢二

TEL 0993(83)2511

FAX 0993(83)4658

ホームページ <https://www.city.minamikyushu.lg.jp>